



### ゲンジボタルの飛翔調査結果

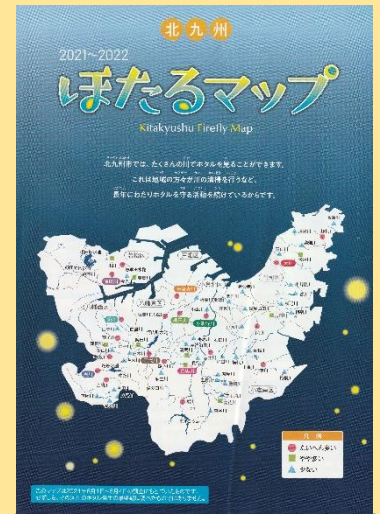
#### ～市内64河川で10,276匹～

北九州市内のゲンジボタルの飛翔調査（主催：建設局水環境課ほたる係）が6月はじめに行なわれ、64河川・176地点で合計10,276匹の飛翔数が確認されました。ここ3年間を比較してみると、8,091匹→9,234匹→10,276匹と年々増加しています。

また、今年の平野部での飛翔ピークは5月27日～30日ごろで例年と変わらなかったようです。ただ、初見日もピークも例年より早い河川もいくつかあったようです。

とにかく、毎年同じ場所でたくさんのホタルが飛ぶということは、ホタルの幼虫が川底深く潜り込んで、洪水にも流されないように頑張っているからだと言えるでしょう。

8月15日 ほたる館情報  
へイケボタル 0匹



↑ ほたるマップ  
ほたる係が、毎年飛翔調査を元に作成しています。ほたる館で無料で配布しています。

### ほたる館の仲間たち



#### カゼトゲタナゴ

筑後川で種の基準になる標本となった個体が採集された、福岡・佐賀・熊本・壱岐島にしかないとされているタナゴ。河川改修や乱獲のため激減してしまっている。

### ホタル一口メモ

ホタルの幼虫は、猫や犬が舌で毛を舐めて体をきれいにするように、体をクリーニングする？

ホタルの幼虫は、腹部の末端にある尾脚（びきやく）を使って頭部や節の汚れなどを拭き取る行動をします。体表の付着物などを取り除いてクリーニングするようです。（参考文献：「ホタルの不思議」大場信義著）

尾脚（びきやく）の役割としては、その他に「歩く時に尾脚で押して歩きやすくする」「流されないように石などに尾脚でしがみつく」などがあります。



←尾脚  
小さな爪がびっしり

### 9月のイベント

- ① 親子で学ぶ昆虫学入門  
「秋の虫に親しむ」  
9/18 (土) 14:00～16:00
- ② 生き物講座  
「南米・アマゾン不思議な生き物たち」  
9/25 (土) 14:00～16:00
- ③ ミツバチ講座  
「日本蜜蜂の生態・飼育・採蜜について」  
9/26 (日) 14:00～16:00

※9月3日(金)より募集開始  
※中止になる場合があります。  
ご了承ください。



## 北九州市ほたる館

住所 〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1  
 開館時間 9:00～17:00  
 入館料 無料  
 休館日 火曜日（祝日の場合はその次の平日）  
 年末年始（12/29～1/3）  
 HP <https://hotarukan.jimdofree.com/>  
 西鉄バス45番・49番 第一熊谷町から徒歩5分  
 お問い合わせは TEL 093-561-0800



ホームページ



Facebook



Instagram

